

---

# 大好きの気持ち

桜木 桜花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大好きの気持ち

### 【Zコード】

Z8594P

### 【作者名】

桜木 桜花

### 【あらすじ】

私の体験談をつづった詩です。  
よんでもらえたら、嬉しいです。

みんなが見ている小説やドラマによく登場するであろう、

悪役

よく人の恋路の邪魔をする、あの嫌なやからだ。

でも、どんなにムカついても、何故か心の奥底で、悪役の気持ちに同感してしまう私がいる。  
全く私もいやな奴だ。

私は、人の恋路をこの手で、ひねりつぶしたことがある。

いつだつたろうか。

一人目の子は、私がすごく嫌つていた。  
周りの子も何人か嫌つている子がいた。  
だからって、別に集団でいじめた訳じゃない。

独断だ。

その子が好きって言つていた人は、私も好きだつた。

その日から、その子の悪い所を見つけると、私は好きな人に聞こえるように、その悪い所を言つた。

その子が彼を好きなことも、学年中に広まつた。

その後、その子とは仲良くしているものの、

罪悪感は消えない。

そして、もう一人は現在進行形。

それは、自分自身。

彼に告白をして、すっかり気まずくなり、私は

『諦めた。  
と伝えた。

本音じゃない。

でも、彼はすぐ喜んでいて、私もつい喜んだ。

でも、そう言つただけでは、信じてもらえなかつた。  
信じてもらえないのがいやだつた。  
目を合わせるのが、とても気まずくて、いやだつた。  
だから、私は…

好きでもない人に告白した。

自分のプライドを捨てて彼が喜べるよう

でも、告白した相手にはふられたし、迷惑をかけた。

メルアドを知っていたので、相手に

『迷惑をかけてごめん』とメールを送つたら、こんなバカな私に  
『そんなこと気にしてないからいいよ。君は、全然迷惑かけてない  
よ。』

と優しい言葉を返信してくれた。

本当にいい人だ。

突然涙腺が緩み、

失恋して初めて泣いた。

どんなに好きだとしても、伝わらなくて。  
大好きで仕方なくて、彼の笑顔が見たくて。

私に優しい言葉をくれた人にも迷惑をかけたのに、  
それでも、私が彼を好きな気持ちは、消えなかつた。  
この気持ちを消してくれる人ができるまで、  
もう少し、あなたを好きでいさせて。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8594p/>

---

大好きの気持ち

2011年1月8日23時59分発行